

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		豊橋市立高山学園						
		公表日 令和7年2月7日						
		利用児童数 40名				回収数 38世帯		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38				園庭や療育室が広く問題なく活動できるスペースが確保されている。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	6		1	十分な人数である。 行事やタイミングによっては大変そうだと感じる。	職員間で連携を図り、丁寧な関わりができるように心掛けます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	3			子どもから見ても分かりやすい構造で肢体不自由の子も活動しやすい。 子どもの発達に合わせた関わりを工夫している。	こども発達センターの専門職と連携を図り、適切な環境構成や関わりについてのスキルアップを図っていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	3		1	衛生的で清潔感があり広々とした空間である。 マットや床の汚れが少しある。 トイレが寒そう。	丁寧に掃除や消毒を行うように心掛けていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1		2	特性に応じた玩具や部屋があり、子どもの状況から臨機応変に対応してくれる。専門性については不明である。 保育士によって違う。 専門的なりハビリを園で受けられるとよい。	関連機関との連携を密に図り、適切な支援が行えるようにしていきます。 園全体のスキルアップを図っていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	1			支援プログラムに沿った支援がされている。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1			保護者の希望や子どもの特性や発達に合わせて無理なく計画されている。 イベントが多く仕事を休まないといけない。	丁寧にアセスメントを行い個別支援計画を作成していきます。 行事等の見直しは毎年行っています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	1			細かく支援内容が設定されている。 主治医の児童精神科医と連携を図って欲しい。	必要に応じて関連機関と連携を密に図り、子どもに合わせた計画を基に支援ができるように努めています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1			子どもに合わせた課題が生活の中に組み込まれている。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4		1	様々なプログラムが用意されており、工夫されていると思う。活動プログラムがどのように組まれているかわかりづらい。毎日の活動予定表があるとよい。	活動のねらいや内容を分かりやすく伝える機会を設けられるように検討していきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	32	4	1	1	定期的に交流プログラムがあり、楽しんでいる。交流内容を具体的に教えてほしい。機会が少なく残念である。交流はなくても良い。 個別に説明を受けている。	交流保育の意図や目的、内容を具体的にアプリのドキュメンテーションなどでお知らせできるように検討しています。 交流の適切な回数など検討します。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37				分かりやすく支援内容の説明を受けている。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	5	1	2	個別遊びや懇談で情報共有を行っている。父親のみが参加できるイベントがあるとよい。	家族支援プログラムについては、障害福祉課とともに研修を進めています。ニーズに合わせた研修会や情報交換会を行えるよう検討していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37				1	アプリや個別遊びを通して情報共有している。もう少し詳しく子どもの様子を知りたい。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	1				アプリや個別遊び、懇談を通して相談したり助言を受ける機会がある。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	1				子どもの好きなことや物を取り入れた支援をしてくれる。園全体の職員から共感的支援を感じる。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	8	2	4	保護者会や行事などで交流が持てる。また、OBの保護者との交流もできて良い。 保護者の交流機会が増えるとよい。 兄弟児が行事に参加できて良い。	今後も保護者会との協力体制で充実した家族支援を考えていきたい。 行事の方法や日程を見直し兄弟児が参加できる機会を検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1		1	様々要望や悩みに迅速に対応してくれる。		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34				バス送迎の為、アプリの連絡帳や電話などで情報を得ている。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	2			おたよりやアプリで情報が発信されている。	アプリやホームページなどのツールを活用できるように検討していきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34				年度当初に確認がされた。また、必要に応じて確認がされている。	今後も個人情報の取り扱いには十分に留意していきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	2		1	療育のしおりに掲載されている。実際に訓練が行われているか分からない。	保護者への周知・説明が丁寧に行うことができます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34				避難訓練が行事に組み込まれている。食材の備蓄の管理がされている。避難訓練の内容が分かりにくい。	必要に応じて避難訓練の内容をお知らせしていきます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33				1	安全に配慮している。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1				ケガをして帰ってくるが多く、対応を求めた。ケガの状況や対応について説明がされている。	リスクマネジメント会議やミーティングなどを行い、事故やケガを未然に防げるように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33				1	保育士に甘えたり信頼している様子が見られる。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33				1	毎日楽しみに登園している。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	34					支援が手厚く楽しく通えているため満足している。	子ども達が楽しく通い、保護者の方々も安心して送り出していただけよう精一杯努めていきます。